

## 防災対策の強化

▶ 問い合わせ 総務部総務グループ (☎⑤ 1 1 3 0)

### 災害への備え

**事業費 162万1千円**

これまでの災害を教訓に、さまざまな災害に対応するため、防災資機材の整備や非常用の食糧の備蓄に努めています。

備蓄食糧については、平成25年に定めた登別市備蓄整備方針に基づき、定期的に購入しており、市内15カ所に約2万食分の分散備蓄を行っています。各家庭でも災害時に備え、3日分程度の食糧や飲料水などを日頃から準備しておきましょう。

#### ○平成30年度の購入予定

- ・アルファ米 3,090食
- ・備蓄用パン 1,510食
- ・育児用ミルク 420個
- ・乾電池 200本
- ・備蓄燃料 306ℓ



▲ 鷺別小学校に備蓄されている非常用食糧

#### ○備蓄場所一覧

- ・のぼりべつ文化交流館  
(カント・レラ)
- ・薬師神社(カルルス町)
- ・ふおれすと鉱山
- ・鷺別公民館
- ・若草小学校
- ・鷺別小学校
- ・しんた21
- ・幌別中学校
- ・日本工学院北海道専門学校
- ・婦人センター
- ・緑陽中学校
- ・富岸小学校
- ・市役所本庁舎
- ・青葉小学校
- ・市民会館

## 火山防災対策

気象庁の火山監視・警報センターが、24時間体制で活動を監視する常時観測火山の一つ、『倶多楽火山』。活動火山対策特別措置法に基づき、平成28年に登別市が中心となって、防災関係機関や学識経験者などと『倶多楽火山防災協議会』を設置しています。

平成30年度は、8月に『倶多楽火山避難計画』を策定。関係機関が連携した総合的な防災対応を可能とし、住民などの安全を確保するため、噴火の発生が予想される場合に同協議会や構成機関などがとるべき警戒避難体制や実施すべき対応を整理しました。

現在は、この計画をもとに、『観光客等避難誘導マニュアル』などの策定に向けて取り組みを進めています。



▲平成30年8月に行われた『倶多楽火山防災協議会』

## 全国瞬時警報システム受信機などの更新

**事業費 432万円**

緊急地震速報や弾道ミサイル情報など、対処に時間的な余裕がない場合に国から伝達される『全国瞬時警報システム(Jアラート)』の情報を適切に受信し、多様な防災情報をより迅速に伝達するため、平成30年11月にJアラート受信機と周辺機器の更新を行い、さらなる防災体制の充実を図りました。



▲Jアラートの情報を放送する市内62カ所の防災行政無線